



社協情報 こもろ

本誌愛称の
投票中！
(詳細はP3)

小諸市社会福祉協議会
小諸市与良町6-5-1
電話 25-7337
FAX 25-5332
E-mail:k-syakyo@ctknet.ne.jp
URL:http://www.k-syakyo.org/



12月初旬、高齢者福祉センター糠塚園において「しめ縄講習会」を開催しました。東山区の長岡賢司さん、宮嶋文三さん、高橋昭市さんを講師とお迎えして、年末に飾るしめ縄作りを学びました。

新年のご挨拶



小諸市社会福祉協議会
会長 細谷 信治

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年
を健やかに迎えのこととお喜び申し上げ
ます。

平素は小諸市社会福祉協議会の諸活動
に格別なるご支援、ご協力を賜り心より
御礼申し上げます。

小諸市社会福祉協議会は昨年より「小諸市地域福祉活動
計画」という5年間の中期計画を開始しました。地域福祉
の向上を地域住民の皆様と共に、協働して推進し創りだ
していく計画です。基本理念は、「今ある支え合いを大切に
し、更なる地域福祉の輪を広げます」で、地域の支え合い
活動を通して、一人一人が元気になるという活動です。
視点は、①今できることをできる範囲で行う ②地域の人
と一緒に考え計画する ③そして実行するとなっております。
活動を通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会を作
っていかうという計画です。この活動を市民の皆様や様々
な団体と協働して展開を図りたいと考えております。尚一
層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

年頭に当り、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上
げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

今号の主な内容

- ▶ 新事務所連絡先
- ▶ 愛称募集
- ▶ ふれあいまつり報告
- ▶ 社協会費・共同募金の御礼
- ▶ 社協事業紹介
- ▶ 友達リレー ほか

愛ちゃん と 希望くん



この広報誌は、
社協会費及び共
同募金配分金に
より発行されて
います。

日赤社資ご協力の御礼

平成27年度日赤社資納入にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

収納金額 6,296,079円



内 訳	個人社費	6,214,079円
	法人社費	68,000円
	寄付金	14,000円

日本赤十字社の活動資金である社資は、赤十字活動に賛同し、社員としてご協力いただく「社費」と、社員以外の方々からご協力いただく「寄付金」から成り立っています。

皆様からご協力いただいた社資は災害救護をはじめ、国際活動、救急法等の講習普及や赤十字奉仕団活動など、人々の命と健康、尊厳を守る様々な活動に役立っています。

今後も日赤活動並びに社資へのご協力をお願いいたします。

新事務所連絡先一覧



代表	TEL 25-7337	FAX 25-5332
まいさぼ小諸	TEL 31-5235	FAX 31-5535
居宅介護支援	TEL 25-5335	
ヘルパーステーション	TEL 25-5330	FAX 25-5332
地域包括支援センター	TEL 24-1051・26-2250	FAX 26-2220



あたたかいご寄付ありがとうございました

社協受付分 (順不同) 期間：平成27年10月11日～平成27年12月4日

- ・小山 真一様 ・レインボークローバー様 ・小諸芸能協会様 ・神津 好信様
- ・長野県労働金庫小諸支店運営委員会様 ・中山 尚武様 ・森泉 郁三郎様
- ・長野県自動車整備同好会小諸分会青年部様

小諸市市民活動・ボランティアサポートセンター受付分

(順不同) 期間：平成27年10月11日～平成27年12月4日

- ・土屋 一夫様 ・工藤 弘子様 ・窪田 幸子様 ・佐藤 政幸様 ・関 文子様
- ・土屋 正子様 ・甘利 光子様 ・山浦 光陽様 ・津金 とよ子様 ・土屋 勇様
- ・小林 純子様 ・倉内 さよ様 ・各務 雄太様 ・土屋 久美子様 ・オヌマスミコ様
- ・山内 彦弥様 ・田宮 亨様 ・佐藤 紀代恵様 ・田中 たま子様 ・篠原 一様
- ・小諸童謡・唱歌をうたう会様 ・こだまの会様 ・小諸日本語教室様 ・ふれあいレターの会様
- ・エースカメラ様 ・(有)小泉産業様 ・中棚荘様 ・小諸看護専門学校様
- ・TDK(株)浅間テクノ工場様 ・(株)コミュニティテレビこもろ様 ・三岡郵便局様 ・夢屋小諸店様
- ・水明小学校様 ・匿名 19名様

(エコキャップ、古切手、古布、毛糸、古毛糸、未使用ハガキ、創作折り紙、茶葉、ベルマーク、雑巾、未使用切手、未使用テレカ、菓子 他)



介護予防地域交流事業をご存知ですか

「生きがいのある地域づくり」を目指して、区役員・民生児童委員・福祉推進委員会などを中心に、小諸市の各地区で行われている介護予防の取り組みのことです。主な活動は以下の4つです

- ◇給食会 会食の場が中心になります
- ◇お茶会 サロン等内容を特定しない集まりです
- ◇介護予防教室 講師を招いての各種教室・介護予防のためのスポーツになります
- ◇世代間交流 高齢者と異世代の交流です



この事業は、これらの交流を通じて、地域の支え合いや、生きがいのある地域づくりのお手伝いをしています。

各地区の活動に、みなさんも参加してみませんか？

〈問合せ〉 地域福祉係（担当 高安）
TEL 25-7337



東雲区の様子

『社協情報こもろ』愛称の最終投票をおこないます

小諸市社会福祉協議会では、年5回「社協情報こもろ」という名前の広報誌を発行しています。

今回、「社協情報こもろ」の愛称を募集したところ、大勢の皆様より愛称案をいただきました。

愛称選考委員会にて厳選なる選考の結果、下記の4候補を最終選考候補といたしました。

ついては、小諸市民の皆様(小諸市へ通勤される方も可)に最終選考をしていただきたく、下記の4候補の中より1つ選び、投票してください。投票方法は、ハガキ、電話、FAX、メールのいずれかをお願いします。

なお、結果においては、来年度5月号の社協情報にて発表させていただきます。

締切：平成28年1月29日 17時まで

《愛称候補》

コミュサポ便りこもろ
 しあわせ通信こもろ
 ささえーるこもろ
 げんきか〜い

〈投票先〉

小諸市社会福祉協議会
 小諸市与良町6-5-1
 TEL 25-7337 FAX 25-5332
 Mail aisho@k-syakyo.org
 担当 愛称選考委員会

今ある支え合いを大切にし、更なる地域福祉の輪を広げます。



実行委員および協力団体（順不同）

小諸市身体障害者福祉協会／表千家流坂本社中／国際ソロプチミスト小諸／ワークポート野岸の丘／一羔会／女性団体連絡協議会／(株)コトブキ／めぐみ会／こだまの会／モチーフの会／愛灯園／やまびこ園／おむすび作業所／小諸手話サークル／小諸学舎／ガールスカウト長野第17団／スペシャルオリンピックス日本・長野／小諸みかげ／しののめ作業所／みすず幼稚園／あしなみ会

第 36 回

ふれあい まつり



実行委員および協力団体（順不同）

手をつなぐ親の育成会・小諸／味工房すみれ／生活リフレッシュ／レインボーローパー／佐久ろうあ太鼓／うららフラガールズ／小諸市高齢者クラブ連合会／夢屋小諸店／ほか個人ボランティアの皆さん



12月6日(日)糠塚園で開催、600人来場

景品およびバザー品協力

(順不同)

みすず幼稚園／国際ソロプチミスト小諸／小諸ランナース／(株)フローレン佐久営業所／ダスキン御影支店／(株)コトブキ／シフォンケーキ専門店MeMe／こうじや商店／海応院／岸田酒店／ヨダ印刷サービス(株)／藤森住建(株)／谷建設(株)／小諸市建設業協会／竹花工業(株)／香坂建設(株)／越中屋商店／コモロ防災／スペシャルオリンピックス日本・長野／肉幸(有)／青建設計(株)



景品およびバザー品協力

(順不同)

大塚酒造(株)／(株)小諸ガス小諸ロータリークラブ／女性団体連絡協議会／酢久商店／長野県労働金庫小諸支店／モチーフの会／柳良(株)／山浦管工(株)／大和屋紙店／(有)ロビン／エースカメラ／堀越建設(株)／(有)富士屋醸造(株)／まちづくり小諸／(株)伊藤園小諸支店／佐藤自動車(株)／アサマ2000パーク／渡辺建設工務店／味工房すみれ／ほか個人の皆さん

社協会費・赤い羽根共同募金

ご協力ありがとうございました



社協会費

(納入期間：9/1～9/30まで)

普通会費	8,247,000円
法人会費	365,000円
賛助会費	82,000円
その他	12,720円

総額 8,706,720円

赤い羽根共同募金



(募金期間：10/1～12/31まで)

戸別募金	4,635,998円
法人募金	1,215,046円
学校募金	38,035円
職域募金	127,120円
イベント募金	23,850円
街頭募金	15,710円
その他	16,616円

総額6,072,375円(H27/12/25現在)

社協情報・赤い羽根共同募金は様々な事業に使われています

障がい者 希望の旅



ひとり暮らし高齢者交流事業



小中学生 福祉学習



ふれあいまつり障がい者作品展示会



わら馬パレード

～小諸市高齢者クラブ連合会主催～



わら馬引きとは…

わら馬引きは、地域によってさまざまな形で残っておりますが、長野県においては2月8日もしくは2月の初午に行われる道祖神祭のひとつです。わらで馬を作り、木製の台車に乗せたわら馬の背に、お供えの餅・おはぎ等をのせ、近くの道祖神まで子どもたちが引いて行きます。子どもたちは各々の供え餅を持ち帰り家族と共に食べ、引いたわら馬を屋根の上に上げ、子どもたちの無病息災、家内安全、養蚕・農作物の豊作を祈り行われてきたお祭です。



日時 平成28年3月5日(土) 12時35分 **開会式**
場所 ほんまち町屋館を出発して商店街をパレード

小諸市では…

各地域でわら馬引きを伝えてきたそうですが、残念ながら時代と共に生活から離れてきてしまったようです。このような現状をなんとかしようと、以前より伝承文化活動の一環として開催してきた「しめ縄作り講習会・わら馬作り講習会」を発展させ、午年にちなんだ平成2年に、伝統行事であった「わら馬引き」（「わら馬パレード」）を復活させました。白鳥政文氏（創始者）をはじめとした小諸市高齢者クラブ連合会の熱意と各関係機関の協力を得て、平成28年で27回目の開催を迎えます。

今では、わら馬作りで三世代交流、青少年の健全育成を図り、比較的イベントの少ない冬場の小諸市内をパレードすることで商店振興・小諸市内の活性化と温もりある小諸市の実現をめざしています。

災害時等住民支え合いマップ

小諸市社会福祉協議会では、各区を単位とした「災害時等支え合いマップ（以下、マップ）」の作成・更新支援を行っています。いざという時、また日常生活における支え合いのツールのひとつです。

～マップ作成でこんなことがわかります～

1. 指定避難所の確認と自主避難所の設定・確認
2. 災害発生時に資材として使用できるものの確認
3. 災害発生危険個所の予測と確認
4. 支援を要する人と支援ができる人の確認
5. 隣組・近所同士の状況の確認



現在、小諸市内68地区のほとんどが作成済となっております。
マップ作成後も地域内の状況は日々変わっていくため、定期的な更新が必要になります。
災害に強い、また日頃からの支え合いが出来あえる小諸市を目指していきましょう。

〔問合せ〕 地域福祉係（担当 大井）
TEL 25-7337

社協事業紹介 ～シリーズ⑫～

福祉学習

小諸市社会福祉協議会が考える「福祉」とは「自分のしあわせ」と「みんなのしあわせ」を共に考え、実現に向けて実践していくことです。福祉学習の場面では「思いやり」と表現します。「思いやり」について児童・生徒が主体的に考えられるきっかけを作ることが私たちの考える福祉学習です。

■学校へうかがいます

社会福祉協議会職員や、障がいを抱える当事者の方が学校などにおうかがいします。体験学習を行う事前学習にもなります。

■福祉体験

福祉用具や点字・手話等の体験を通して、相手の立場に立つことが支援の第一歩であることを学びます。

■当事者との交流

高齢者や障がい者との交流を通して、これまで自分たちが学んだ福祉やボランティアの意味を考える機会とします。

福祉学習の様子⇒



アイマスク体験による点字迷路、難しいね！



みんなの「思いやり」で階段に上れました！



自分で作った点字名刺、正しく点字は打てたかな？



「思いやり」についてみんなで考えてみよう

✳今年も市内の小中学校において福祉学習を行いました。今後も学校や地域の皆さんと共に、子どもたちの「思いやりの心」を育むことができるような福祉学習のプログラムを提案させていただきます。
〔問合せ先〕 地域福祉係（担当 大井） TEL 25-7337

社協クイズLet's チャレンジ!!!

クイズ：今年度「ふれあいまつり」は第何回目だったでしょう？

① 第33回 ② 第34回 ③ 第35回 ④ 第36回 ⑤ 第37回

【応募方法】 クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、社協へのご意見・ご要望、社協情報こもろの感想を添えて社協までハガキかメールでお送りください。

※正解者の中から抽選で3名の方に図書カードをプレゼントいたします！

【応募締切】 1月29日(金)必着

【応募先】 〒384-0006 小諸市与良町6-5-1 「小諸市社会福祉協議会」宛

【問合せ先】 社協クイズ担当係 電話：25-7337 E-Mail：k-syakyo@ctknet.ne.jp

お詫び：前号の11月号において、クイズ締切が配布日と同時期になってしまい大変ご迷惑をおかけしました。

つきましては、11月号クイズの締切を1月29日(金)まで延長させていただきます。



ご家族のために
ご自身のために学ぶ
介護応援セミナー



あなたの財産と暮らしを守る
成年後見制度と日常生活自立支援事業
～地域で安心して暮らすために～



日時 平成28年2月25日(木) 10時30分～11時30分
内容 講演会、DVD上映、相談案内
講師 小諸市社会福祉協議会 鷹野聡史日常生活自立支援事業専門員
会場 小諸市野岸の丘総合福祉センター2階 (小諸警察署南側)
定員 30名 (先着順)

【参加申込・問合せ】

地域福祉係
電話 25-7337 (担当 大井)

とても分かり易い
講座です。
お気軽にどうぞ。

介護応援セミナーは『赤い羽根共同募金』の配分金により開催しています



ふれあい小諸 ～地域の広場～

(リレー方式で地域の皆さんの紹介をしていきます)

「会話の中の方言」

友達リレー 第8号

紙谷 弥紗 さん【南町区】



18年間過ごした小諸市を離れ、群馬県前橋市で暮らし始めて3年が経ちます。隣の県といえども、長野県と群馬県では県民性や暮らしが違い戸惑うことも多くありました。

言葉というのはコミュニケーションをとるうえでとても大切なツールとなっていますが、会話をする相手の方の年齢が高ければ高いほどその土地の「方言」をよく使われます。私は祖父母と暮らしていたため、「小諸方言」をよく使います。自分も使っている言葉なので、小諸市に住む高齢者の方々と会話の中で言葉が分からないという体験はほとんどありません。群馬県も多少違いはありますが、長野の方言と通じるところがあり会話での苦労はありませんでした。しかし、核家族や高齢者と幼少期から関わるのが少なかった同級生や、他学年の学生から「方言が分からない」という話をよく聞きます。そのため、ボランティア先の高齢者の方が方言で話されると何を言っているのかわからず、何を答えていいのかわからなかったため笑うことしかできなかったという話も極たまに聞くことができました。そのような話を聞くと私は、とても勿体無いと思うと同時に寂しさを覚えます。自分の話していることを理解してもらえないというのは、とても悲しく不安なことです。『もう一度話しても、理解してもらえないなら話をするのはやめよう。』『この人は私の言ったことが分からないみたいだから、この人とは話したくない。』そう思われてしまったら、こちらがその方と仲良くなりたい、いい支援をしたいと思っていてもできなくなってしまうかもしれません。

その土地の方言を理解する、話せるようになるというのは高齢者の方に寄り添った支援やコミュニケーションをとるためにはとても必要なことだと私は思います。コミュニケーションは会話全てではありません。そして、方言も会話の全てではありません。しかし、方言というのは高齢者の方々にとって、身近なもので親しみやすい言葉なのだと思います。また、方言というのはその方がその土地で生きてきた歴史の一部なのかもしれません。だからこそ、方言を理解するというのは次のコミュニケーションにつながる可能性や、お互いが楽しい会話になることにもつながるのではないかと考えています。

様々な年代の方とお話することは、とても楽しく新鮮なことです。様々な年代の方とこれからも楽しくお話しできるように、その土地の言葉を大切にしていきたいと思っています。